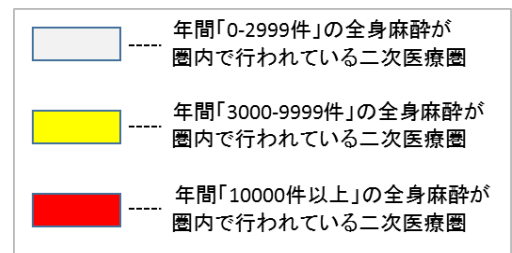
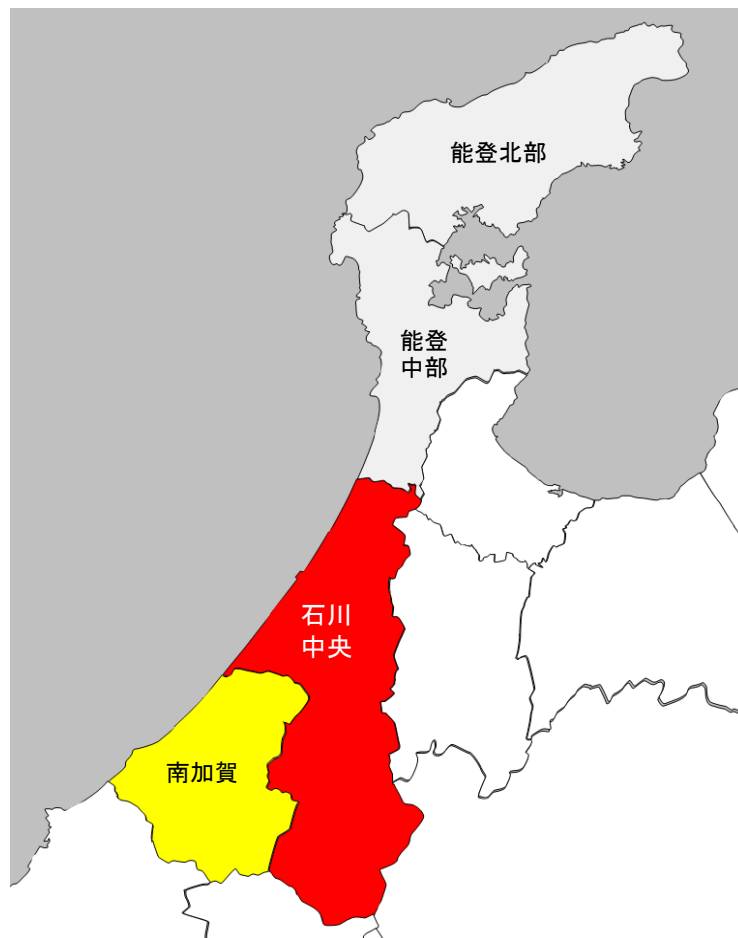


17. 石川県

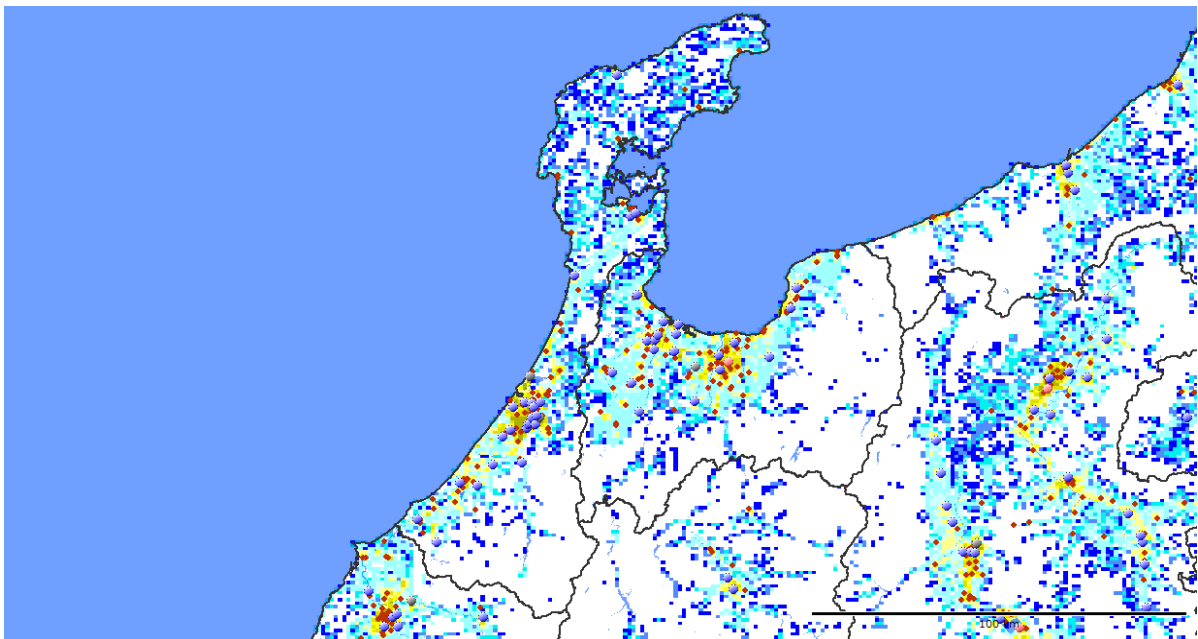


目次

石川県	17	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	17	-	8
1. 南加賀医療圏	17	-	20
2. 石川中央医療圏	17	-	25
3. 能登中部医療圏	17	-	30
4. 能登北部医療圏	17	-	35

17. 石川県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(石川県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 石川県は、総人口約1,154千人(2015年)、面積4,186km²、人口密度は276人/km²である。

*人口の将来予測： 石川県の総人口は2025年に1,104千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に990千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の153千人が、2025年にかけて207千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には205千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 石川県の一人当たり医療費(国保)は404千円(偏差値61)、介護給付費は274千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 石川県の一人当たり急性期医療密度指数は1.37、一人当たり慢性期医療密度指数は1.46で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数56、診療所医師数47)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 石川県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18,105人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が11,564床(偏差値61)、高齢者住宅等が6,541床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,881人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム42、軽費ホーム71、グループホーム61、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,656人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移

【人口と医療需要】

石川県の総人口は、2005年1,174,026人が、2015年に1,154,008人と2%減少し、2025年の人口が1,104,368人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

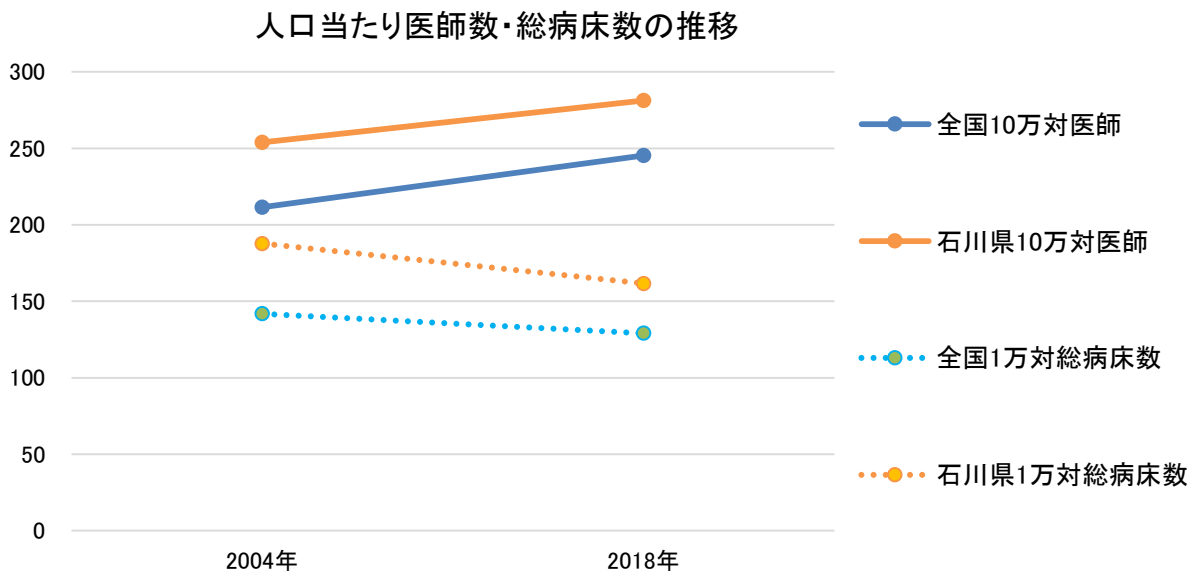
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が111(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2018年に94(人口10万人当たり8.1病院(全国平均6.6)偏差値54)となり、14年間で17病院が減少した。

2004年の診療所数が843(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2018年に873(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、30診療所が増加した。

2004年の総病床数が22,038床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2018年に18,655床(人口1万人当たり162(全国平均129)偏差値56)と、3,383床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

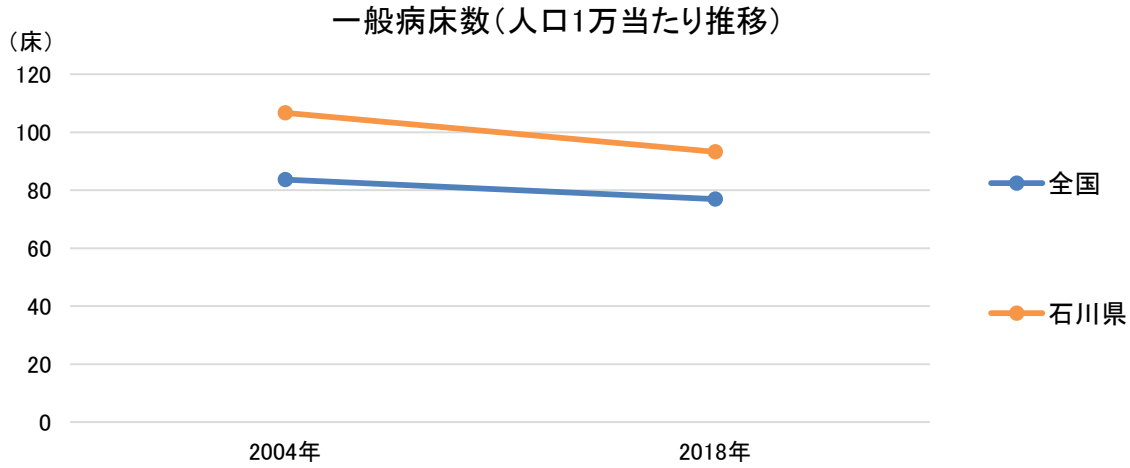
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,981人(人口10万人当たり254人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2018年に3,247人(人口10万人当たり281人(全国平均245人)偏差値54)と、266人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



17.石川県(2019年版)

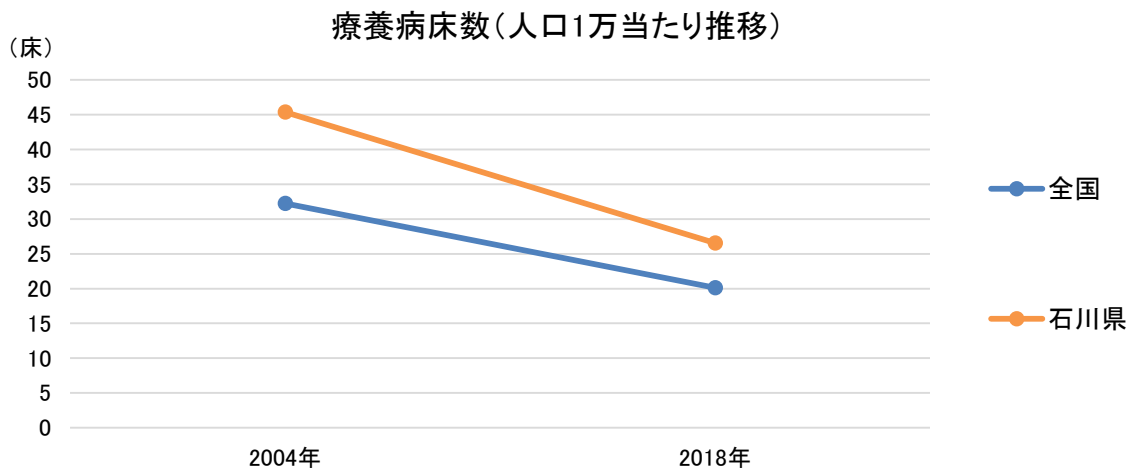
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12,524床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2018年に10,761床(人口1万人当たり93(全国平均77)偏差値56)と、1,763床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



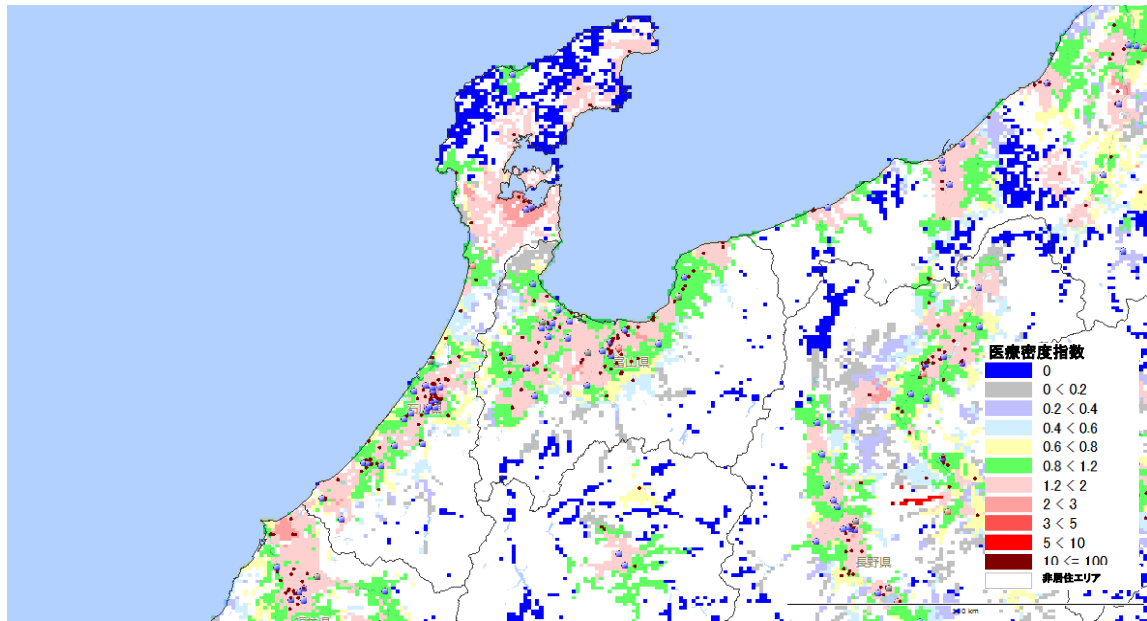
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5,465床(75歳以上1,000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2018年に4,068床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均20)偏差値56)と、1,397床の減少、率にして26%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



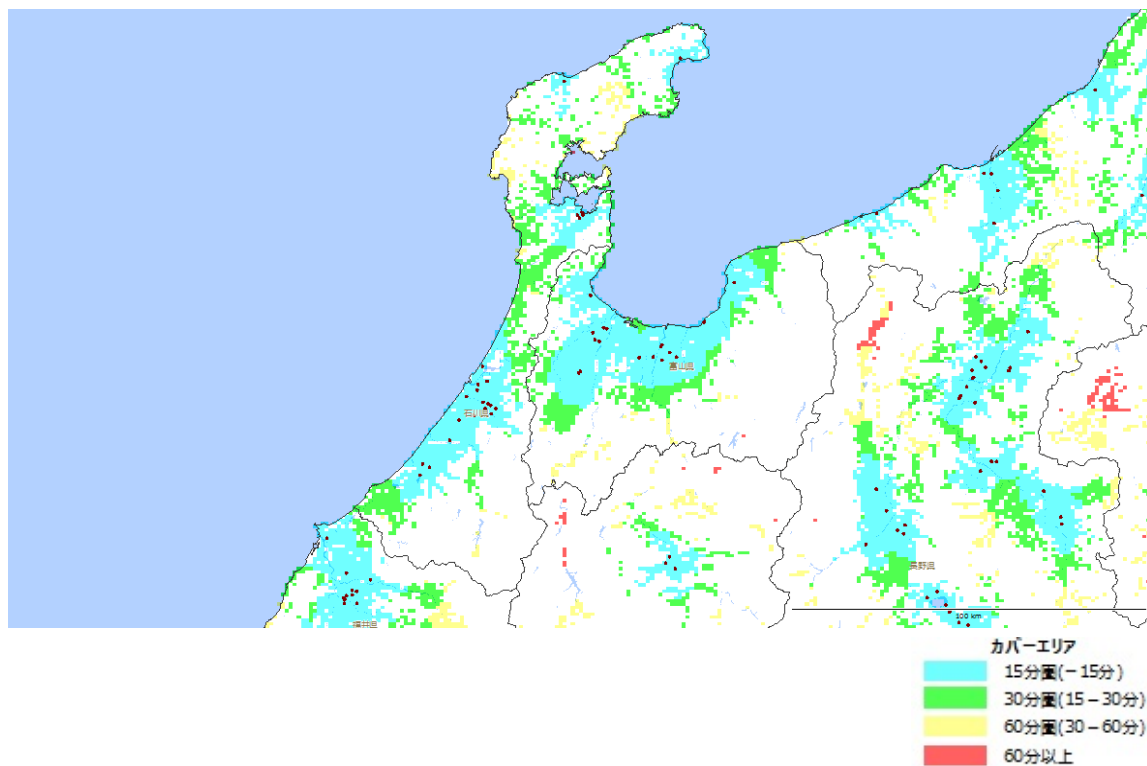
(石川県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表17-1 急性期医療密度指数マップ



図表17-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 17-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
石川県	1,154	34位	4,186	35位	275.7		28%	1,104	990	153	207	205	-4%	-10%	35%	-1%
南加賀	229	20%	776	19%	295.6	地方都市型	28%	214	186	31	41	39	-7%	-13%	32%	-5%
石川中央	728	63%	1,432	34%	508.4	地方都市型	25%	726	684	82	120	129	0%	-6%	46%	8%
能登中部	128	11%	848	20%	151.2	過疎地域型	36%	112	86	23	28	25	-13%	-23%	22%	-11%
能登北部	68	6%	1,130	27%	60.3	過疎地域型	45%	53	34	17	17	13	-22%	-36%	0%	-24%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 17-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
石川県	1.37	1.46	16,384	16,891	-3.1%
南加賀	1.16	1.62	3,379	3,402	-0.7%
石川中央	1.45	1.31	8,925	9,812	-9.9%
能登中部	1.73	1.48	2,420	2,267	6.3%
能登北部	0.66	1.33	1,660	1,410	15.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 17-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
石川県	404	61	1.082	181	64	1.247	201	55	0.993	274	56
南加賀	400	60	1.056	177	62	1.195	201	55	0.979	278	57
石川中央	401	60	1.095	180	63	1.265	198	54	1.000	262	52
能登中部	427	66	1.062	196	69	1.248	210	60	0.966	297	63
能登北部	401	60	1.003	171	61	1.095	210	60	0.974	305	65
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 17-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
石川県	975	54	1.030	548	58	1.147	404	44	0.930
南加賀	935	51	0.981	512	55	1.066	397	42	0.904
石川中央	1,029	58	1.095	590	62	1.246	414	46	0.959
能登中部	933	50	0.963	541	57	1.096	374	36	0.848
能登北部	848	43	0.878	427	46	0.863	406	44	0.928
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 17-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
石川県	94	1.1%	8.1	54	873	0.9%	76	48
南加賀	20	21%	8.7	55	151	17%	66	42
石川中央	58	62%	8.0	53	586	67%	80	50
能登中部	11	12%	8.6	55	79	9%	62	40
能登北部	5	5%	7.3	52	57	7%	84	52
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 17-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
石川県	873	0.9%	76	48	807	0.8%	70	47	66	1.0%	5.7	50
南加賀	151	17%	66	42	137	17%	60	42	14	21%	6.1	51
石川中央	586	67%	80	50	542	67%	74	50	44	67%	6.0	51
能登中部	79	9%	62	40	72	9%	56	40	7	11%	5.5	50
能登北部	57	7%	84	52	56	7%	82	54	1	2%	1.5	43
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 17-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
石川県	17,785	1.1%	1,541	57	870	0.9%	75	50	18,655	1.1%	1,617	56
南加賀	2,865	16%	1,249	51	174	20%	76	50	3,039	16%	1,325	51
石川中央	12,270	69%	1,685	60	567	65%	78	50	12,837	69%	1,763	59
能登中部	1,856	10%	1,448	55	125	14%	97	53	1,981	11%	1,545	55
能登北部	794	4%	1,164	49	4	0%	6	42	798	4%	1,170	48
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 17-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
石川県	9,915	1.1%	859	57	4,044	1.3%	350	55	3,726	1.1%	323	53
南加賀	1,689	17%	736	52	573	14%	250	50	589	16%	257	50
石川中央	6,426	65%	882	58	2,906	72%	399	57	2,907	78%	399	57
能登中部	1,278	13%	997	63	304	8%	237	49	230	6%	179	46
能登北部	522	5%	765	53	261	6%	383	57	0	0%	0	38
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 17-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
石川県	684	0.8%	59	49	1,374	1.7%	119	58
南加賀	142	21%	62	50	321	23%	140	61
石川中央	495	72%	68	51	730	53%	100	55
能登中部	47	7%	37	44	200	15%	156	63
能登北部	0	0%	0	36	123	9%	180	67
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 17-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
石川県	6,750	5,828	168	10,555	3,958	3,585	59.6%	56	4.5%	50
南加賀	1,015	935	40	1,731	701	471	57.2%	55	7.8%	51
石川中央	4,195	3,593	53	7,801	2,783	2,695	56.4%	55	1.9%	49
能登中部	978	797	27	843	474	239	62.7%	57	10.2%	52
能登北部	562	503	48	180	0	180	100.0%	71	21.1%	57
出典	地方厚生局指定一覽令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 17-11 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
石川県	21,756	1.0%	1,885	52	8,652	0.9%	750	51
南加賀	3,396	16%	1,481	47	2,172	25%	947	58
石川中央	16,740	77%	2,299	57	5,304	61%	728	50
能登中部	1,620	7%	1,263	44	912	11%	711	49
能登北部	0	0%	0	29	264	3%	387	37
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 17-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
石川県	3,247	1.0%	281	54	2,396	1.2%	208	56	851	0.8%	74	47
南加賀	392	12%	171	42	250	10%	109	43	142	17%	62	42
石川中央	2,509	77%	345	61	1,907	80%	262	63	602	71%	83	50
能登中部	244	8%	190	44	171	7%	133	46	73	9%	57	40
能登北部	102	3%	150	40	68	3%	100	41	34	4%	50	37
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 17-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
石川県	334	1.1%	28.9	55	143	1.0%	12.4	53	104	0.9%	9.0	50
南加賀	42	13%	18.3	46	19	13%	8.3	44	13	13%	5.7	42
石川中央	265	79%	36.4	62	106	74%	14.6	57	82	79%	11.3	56
能登中部	26	8%	20.3	48	13	9%	10.1	48	7	7%	5.5	42
能登北部	1	0%	1.5	31	5	3%	7.3	42	2	2%	2.9	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 17-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
石川県	67	1.2%	5.8	56	94	0.9%	8.1	51	85	1.1%	7.4	55
南加賀	11	16%	4.8	51	14	15%	6.1	45	12	14%	5.2	47
石川中央	51	76%	7.0	61	71	76%	9.7	56	66	78%	9.1	61
能登中部	5	7%	3.9	47	8	9%	6.2	45	4	5%	3.1	40
能登北部	0	0%	0	30	1	1%	1.5	30	3	4%	4.4	44
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 17-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
石川県	104	1.1%	9.0	54	218	1.0%	18.9	52	180	1.1%	15.6	55
南加賀	16	15%	7.0	48	31	14%	13.5	45	28	16%	12.2	48
石川中央	85	82%	11.7	61	164	75%	22.5	57	127	71%	17.4	59
能登中部	3	3%	2.3	36	15	7%	11.7	42	17	9%	13.3	50
能登北部	0	0%	0	29	8	4%	11.7	42	8	4%	11.7	47
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 17-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
石川県	67	1.1%	5.8	54	83	1.2%	7.2	57	80	1.3%	6.9	57
南加賀	14	21%	6.1	56	12	14%	5.2	49	4	5%	1.7	41
石川中央	47	70%	6.5	57	61	73%	8.4	62	72	90%	9.9	67
能登中部	4	6%	3.1	42	7	8%	5.5	50	4	5%	3.1	45
能登北部	2	3%	2.9	41	3	4%	4.4	46	0	0%	0	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 17-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
石川県	83	1.1%	7.2	54	23	1.4%	2.0	57	35	0.8%	3.0	48
南加賀	7	8%	3.1	42	2	9%	0.9	46	3	9%	1.3	40
石川中央	67	81%	9.2	60	21	91%	2.9	66	29	83%	4.0	53
能登中部	8	10%	6.2	51	0	0%	0	37	2	6%	1.6	41
能登北部	1	1%	1.5	37	0	0%	0	37	1	3%	1.5	41
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 17-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
石川県	28	1.3%	2.4	55	30	1.1%	2.6	53
南加賀	3	11%	1.3	47	5	17%	2.2	50
石川中央	23	82%	3.2	61	24	80%	3.3	58
能登中部	2	7%	1.6	49	1	3%	0.8	40
能登北部	0	0%	0	36	0	0%	0	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 17-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
石川県	12,945	1.1%	1,122	58	10,851	1.2%	940	59	2,094	0.9%	181	51
南加賀	2,072	16%	904	50	1,685	16%	735	50	387	18%	169	49
石川中央	8,980	69%	1,233	62	7,591	70%	1,042	63	1,389	66%	191	52
能登中部	1,368	11%	1,067	56	1,156	11%	901	57	212	10%	165	48
能登北部	525	4%	770	45	420	4%	615	46	106	5%	155	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 17-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
石川県	1,338	1.0%	116	51	2,728	0.9%	236	49
南加賀	230	17%	100	48	403	15%	176	43
石川中央	892	67%	122	52	2,016	74%	277	53
能登中部	169	13%	132	54	205	8%	160	42
能登北部	47	4%	69	43	104	4%	153	41
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 17-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
石川県	160	1.1%	1.0	54	24	1.6%	0.2	59	128	1.1%	0.8	56
南加賀	29	18%	0.9	51	3	13%	0.1	51	22	17%	0.7	50
石川中央	110	69%	1.3	60	14	58%	0.2	61	80	63%	1.0	62
能登中部	17	11%	0.7	46	5	21%	0.2	67	15	12%	0.6	47
能登北部	4	3%	0.2	35	2	8%	0.1	53	11	9%	0.6	47
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 17-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
石川県	18,105	1.1%	118	58	11,564	1.2%	75	61	6,541	0.9%	43	49
南加賀	3,734	21%	121	60	2,679	23%	87	71	1,055	16%	34	44
石川中央	10,154	56%	124	61	5,678	49%	69	56	4,476	68%	55	57
能登中部	2,551	14%	109	52	1,885	16%	81	66	666	10%	29	40
能登北部	1,666	9%	96	45	1,322	11%	76	62	344	5%	20	35
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 17-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
石川県	3,981	1.1%	26	56	6,931	1.2%	45	60	652	1.3%	4.3	53
南加賀	1,139	29%	37	74	1,468	21%	48	62	72	11%	2.3	48
石川中央	1,925	48%	24	52	3,490	50%	43	57	263	40%	3.2	50
能登中部	657	17%	28	59	1,091	16%	47	61	137	21%	5.9	57
能登北部	260	7%	15	37	882	13%	51	65	180	28%	10.4	69
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 17-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
石川県	991	0.4%	6.5	42	891	3.8%	5.8	71	2,908	1.4%	19.0	61
南加賀	97	10%	3.2	39	123	14%	4.0	62	480	17%	15.6	55
石川中央	875	88%	10.7	46	669	75%	8.2	82	1,673	58%	20.5	64
能登中部	19	2%	0.8	37	30	3%	1.3	49	486	17%	20.8	65
能登北部	0	0%	0	36	69	8%	4.0	62	269	9%	15.5	55
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 17-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)	
石川県	1,751	0.7%	11.4	45	30	0.1%	0.2	43	1,721	0.8%	11.2	47	
南加賀	355	20%	11.5	45	0	0%	0	42	355	21%	11.5	47	
石川中央	1,259	72%	15.4	50	30	100%	0.4	44	1,229	71%	15.0	52	
能登中部	131	7%	5.6	37	0	0%	0	42	131	8%	5.6	39	
能登北部	6	0%	0.3	30	0	0%	0	42	6	0%	0.3	32	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 17-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)	訪問看護		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
石川県	1,915	1.1%	12.5	58	1,308	1.1%	8.5	57	607	1.1%	4.0	55
南加賀	399	21%	13.0	60	303	23%	9.8	63	96	16%	3.1	47
石川中央	1,046	55%	12.8	59	629	48%	7.7	52	417	69%	5.1	65
能登中部	288	15%	12.4	57	221	17%	9.5	62	67	11%	2.9	45
能登北部	182	9%	10.5	49	154	12%	8.9	59	28	5%	1.6	34
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 17-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
石川県	15,536	1.0%	101	58	13,881	1.1%	91	61	1,656	0.8%	10.8	45
南加賀	3,035	20%	99	55	2,803	20%	91	61	233	14%	7.6	39
石川中央	8,825	57%	108	63	7,637	55%	93	63	1,188	72%	14.5	52
能登中部	2,246	14%	96	53	2,106	15%	90	60	139	8%	6.0	36
能登北部	1,430	9%	83	41	1,334	10%	77	48	96	6%	5.5	35
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 17-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
石川県	11,152	0.9%	73	49	4,215	0.8%	28	45	11,134	1.0%	73	52
南加賀	1,798	16%	58	45	725	17%	24	43	1,002	9%	33	35
石川中央	8,316	75%	102	58	2,904	69%	36	51	8,894	80%	109	67
能登中部	683	6%	29	37	368	9%	16	37	762	7%	33	35
能登北部	355	3%	20	34	218	5%	13	35	476	4%	27	33
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 17-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
石川県		1,174,026	1,154,008	-2%	1,104,368	-6%	10%	5%	15%
南加賀	地方都市型	236,950	229,333	-3%	214,209	-10%	9%	2%	11%
石川中央	地方都市型	709,489	728,259	3%	725,503	2%	15%	9%	26%
能登中部	過疎地域型	144,373	128,221	-11%	111,521	-23%	1%	-3%	-2%
能登北部	過疎地域型	83,214	68,195	-18%	53,135	-36%	-6%	-13%	-18%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 17-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
石川県	111	9.5	56	94	8.1	54	-17	-15%
南加賀	25	10.6	59	20	8.7	55	-5	-20%
石川中央	67	9.4	56	58	8.0	53	-9	-13%
能登中部	13	9.0	55	11	8.6	55	-2	-15%
能登北部	6	7.2	50	5	7.3	52	-1	-17%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 17-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
石川県	843	72	48	873	76	48	30	4%
南加賀	144	61	42	151	66	42	7	5%
石川中央	541	76	50	586	80	50	45	8%
能登中部	96	66	45	79	62	40	-17	-18%
能登北部	62	75	49	57	84	52	-5	-8%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 17-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
石川県	2,981	254	55	3,247	281	54	266	9%
南加賀	374	158	44	392	171	42	18	5%
石川中央	2,244	316	62	2,509	345	61	265	12%
能登中部	246	170	45	244	190	44	-2	-1%
能登北部	117	141	42	102	150	40	-15	-13%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 17-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
石川県	22,038	188	58	18,655	162	56	-3,383	-15%
南加賀	3,942	166	54	3,039	133	51	-903	-23%
石川中央	14,361	202	61	12,837	176	59	-1,524	-11%
能登中部	2,564	178	56	1,981	154	55	-583	-23%
能登北部	1,171	141	50	798	117	48	-373	-32%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 17-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
石川県	12,524	107	58	10,761	93	56	-1,763	-14%
南加賀	2,299	97	55	1,863	81	52	-436	-19%
石川中央	7,801	110	59	6,969	96	57	-832	-11%
能登中部	1,692	117	62	1,403	109	63	-289	-17%
能登北部	732	88	52	526	77	50	-206	-28%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 17-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

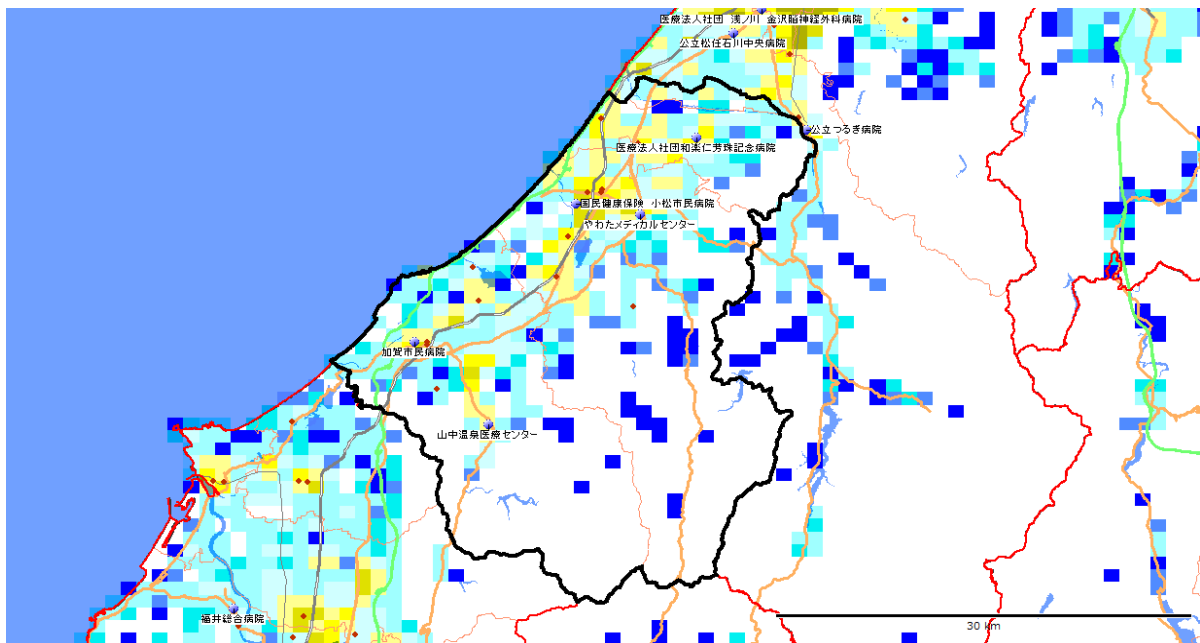
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
石川県	5,465	45	57	4,068	27	56	-1,397	-26%
南加賀	984	40	55	573	19	49	-411	-42%
石川中央	3,542	59	65	2,930	36	64	-612	-17%
能登中部	511	25	46	304	13	44	-207	-41%
能登北部	428	28	47	261	15	45	-167	-39%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

17-1. みなみかが 南加賀医療圏

構成市区町村 [小松市](#) [加賀市](#) [能美市](#) [川北町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



(南加賀医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南加賀(小松市)は、総人口約229千人(2015年)、面積776km²、人口密度は296人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南加賀の総人口は2025年に214千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に186千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の31千人が、2025年にかけて41千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には39千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南加賀の一人当たり医療費(国保)は400千円(偏差値60)、介護給付費は278千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南加賀の一人当たり急性期医療密度指数は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数は1.62で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。南加賀には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国民健康保険小松市民病院(Ⅲ群)、500例以上の加賀市医療センター(Ⅲ群)、やわたメディカルセンター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南加賀の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,734人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,679床(偏差値71)、高齢者住宅等が1,055床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,803人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設74、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム39、軽費ホーム62、グループホーム55、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、233人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(南加賀医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

南加賀医療圏の総人口は、2005年236,950人が、2015年に229,333人と3%減少し、2025年の人口が214,209人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

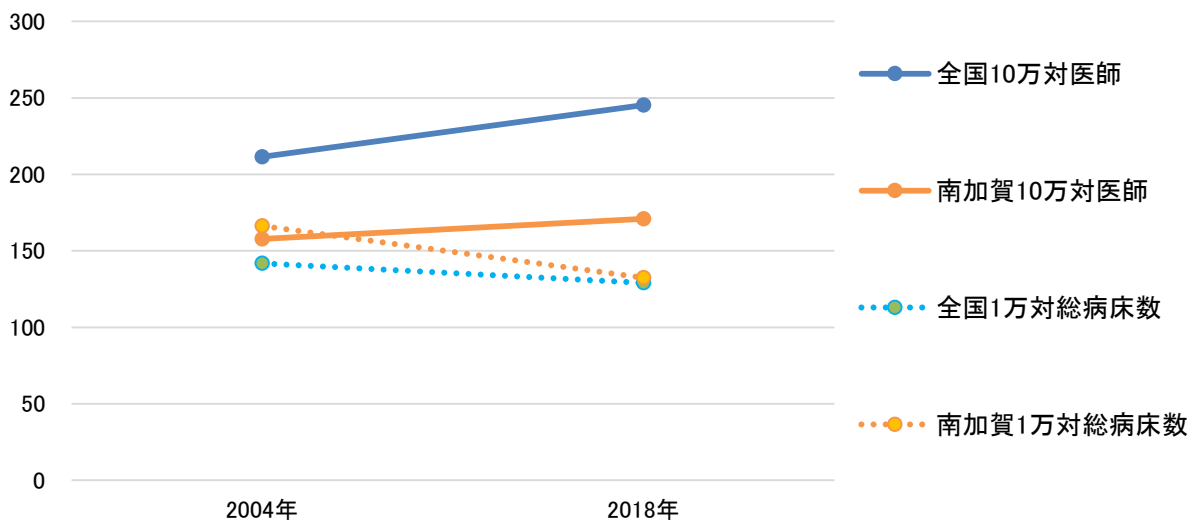
2004年の病院数が25(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2018年に20(人口10万人当たり8.7病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、14年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が144(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2018年に151(人口10万人当たり66診療所(全国平均80)偏差値42)と、7診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,942床(人口1万人当たり166(全国平均142)偏差値54)であったが、2018年に3,039床(人口1万人当たり133(全国平均129)偏差値51)と、903床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

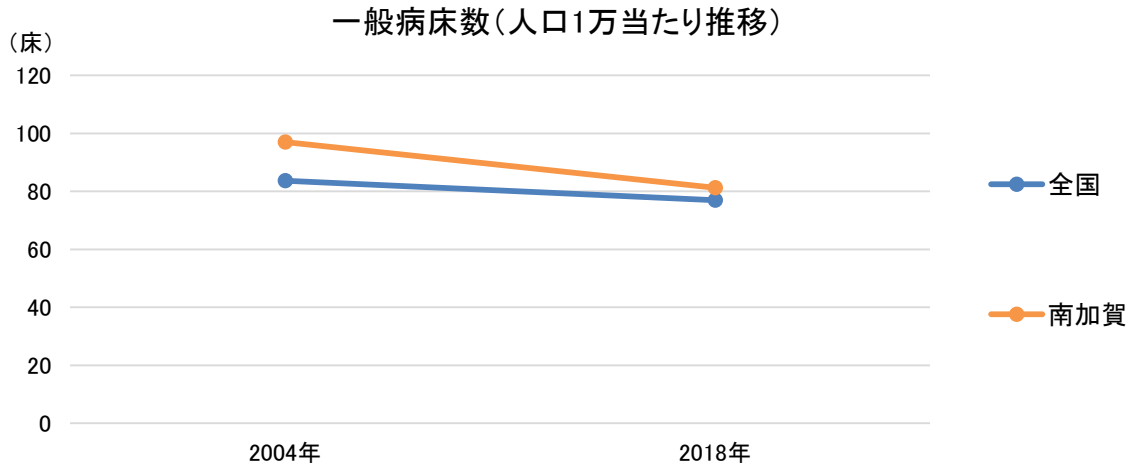
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が374人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に392人(人口10万人当たり171人(全国平均245人)偏差値42)と、18人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



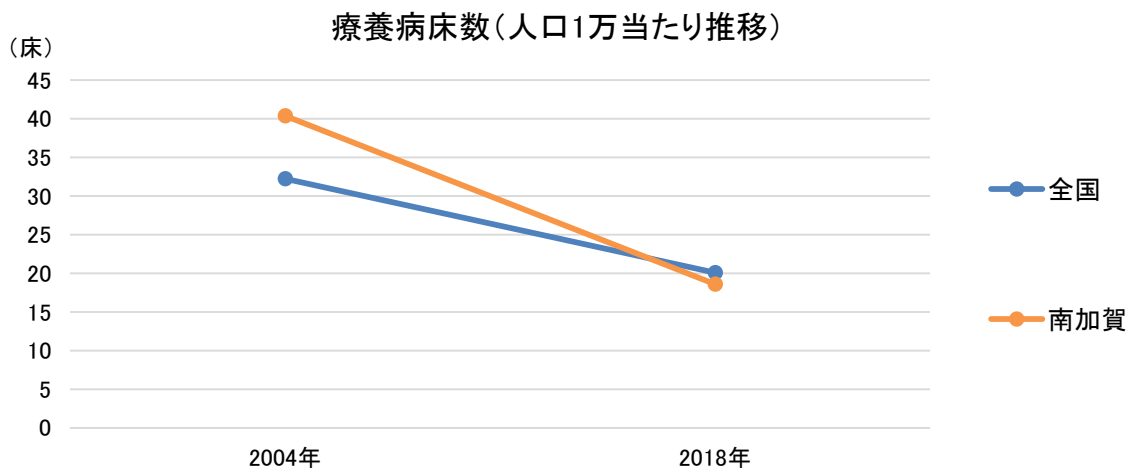
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,299床(人口1万人当たり97(全国平均84)偏差値55)であったが、2018年に1,863床(人口1万人当たり81(全国平均77)偏差値52)と、436床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



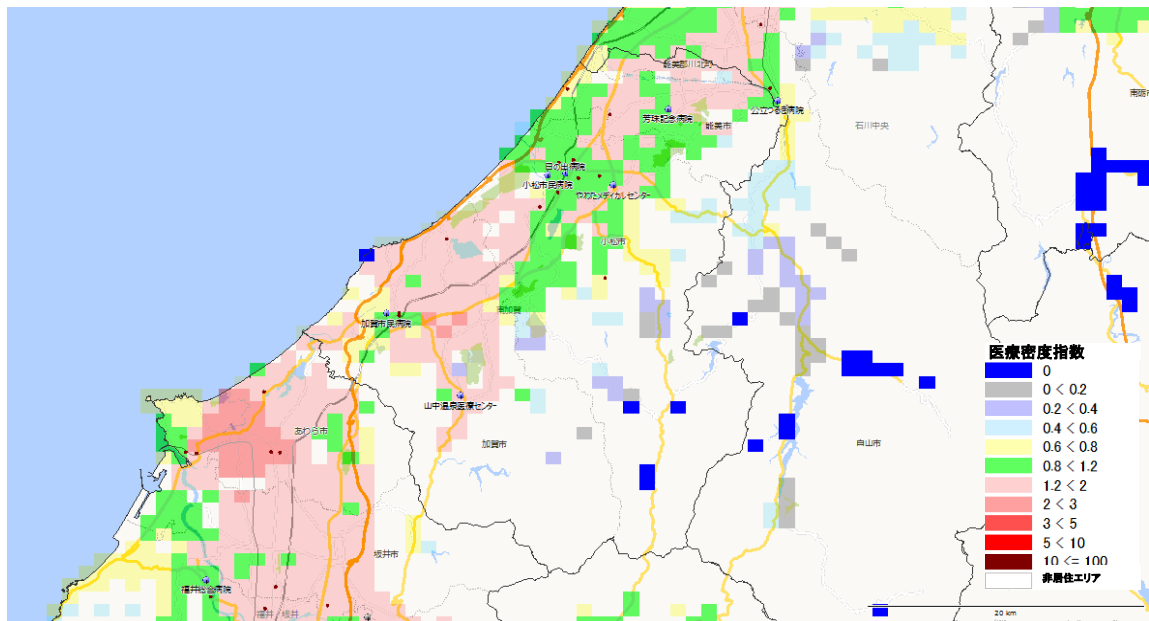
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が984床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均32)偏差値55)であったが、2018年に573床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値49)と、411床の減少、率にして42%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



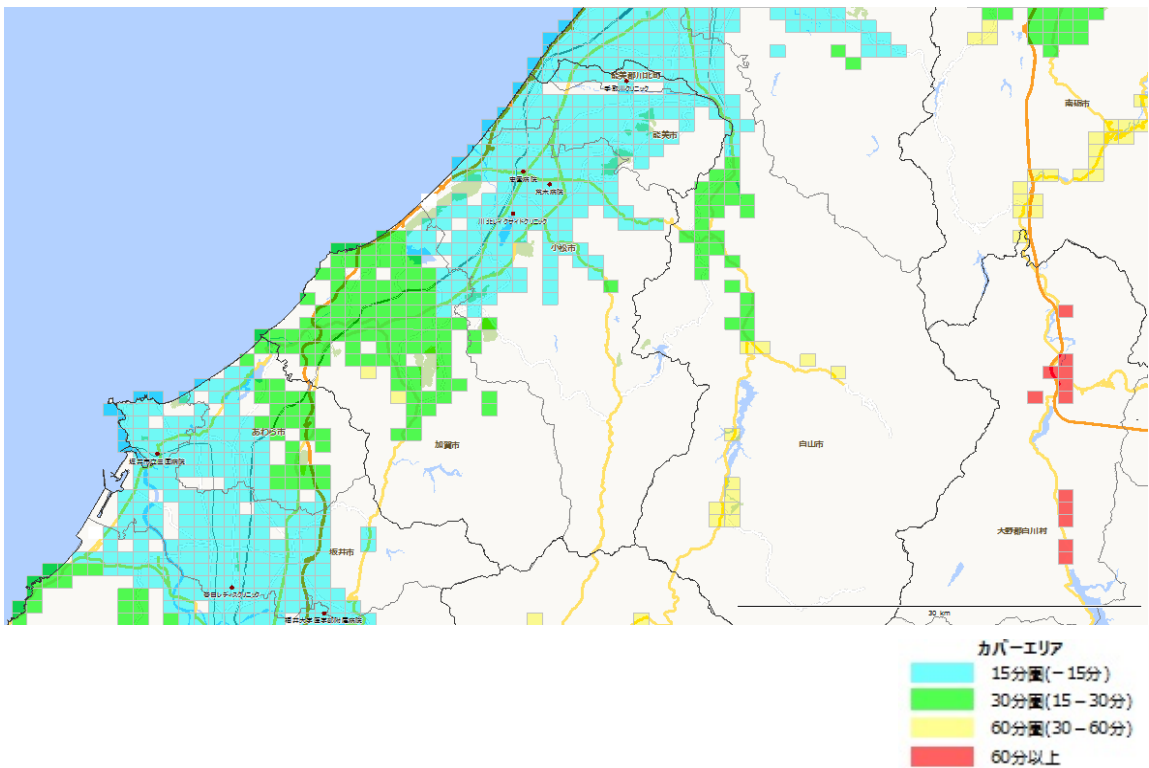
(南加賀医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表17-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表17-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）

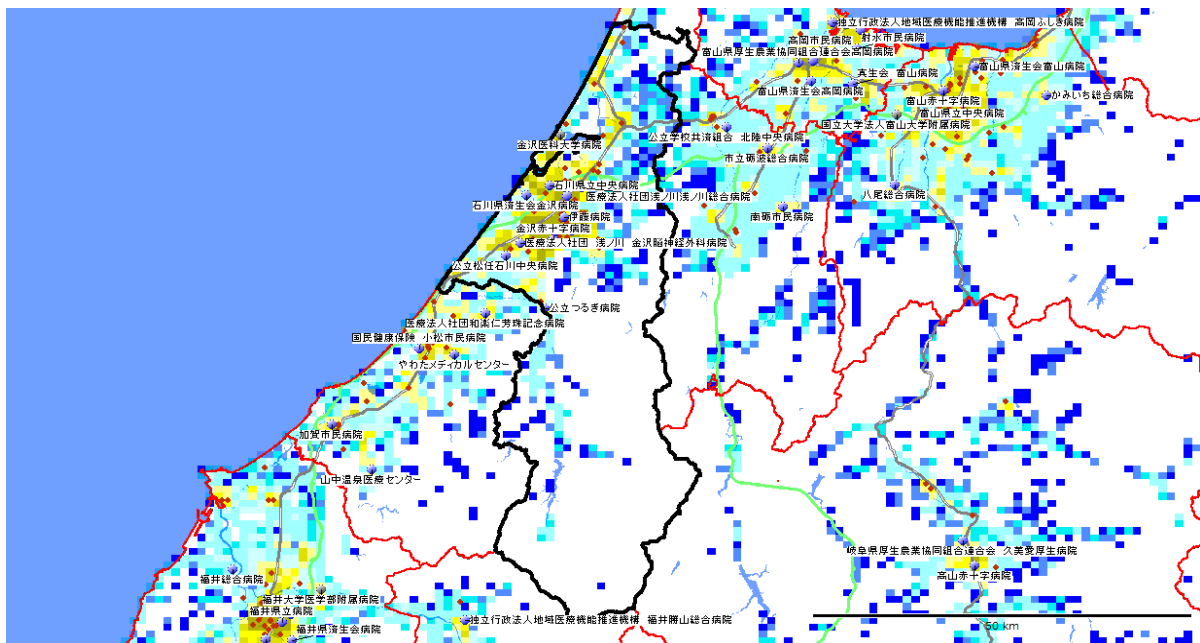


17-2. いしかわちゅうおう 石川中央医療圏

構成市区町村 [金沢市](#) [津幡町](#) [かほく市](#) [内灘町](#) [白山市](#) [野々市市](#)

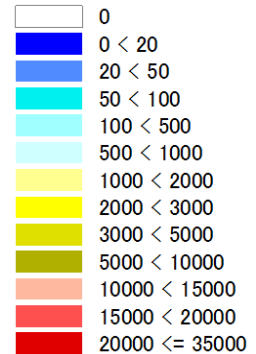
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(石川中央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 石川中央(金沢市)は、総人口約728千人(2015年)、面積1,432km²、人口密度は508人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 石川中央の総人口は2025年に726千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に684千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の82千人が、2025年にかけて120千人へと増加し(2015年比+46%)、2040年には129千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 石川中央の一人当たり医療費(国保)は401千円(偏差値60)、介護給付費は262千円(偏差値52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 石川中央の一人当たり急性期医療密度指数は1.45、一人当たり慢性期医療密度指数は1.31で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が61(病院医師数63、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。石川中央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の石川県立中央病院(Ⅱ群・救命)、金沢大学附属病院(Ⅰ群)、金沢医科大学病院(Ⅰ群)、1000例以上のNHO金沢医療センター(Ⅲ群)、公立松任石川中央病院(Ⅲ群)、500例以上の浅ノ川総合病院(Ⅲ群)、JCHO金沢病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 石川中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,154人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,678床(偏差値56)、高齢者住宅等が4,476床(偏差値57)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,637人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム46、軽費ホーム82、グループホーム64、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,188人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(石川中央医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

石川中央医療圏の総人口は、2005年709,489人が、2015年に728,259人と3%増加し、2025年の人口が725,503人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

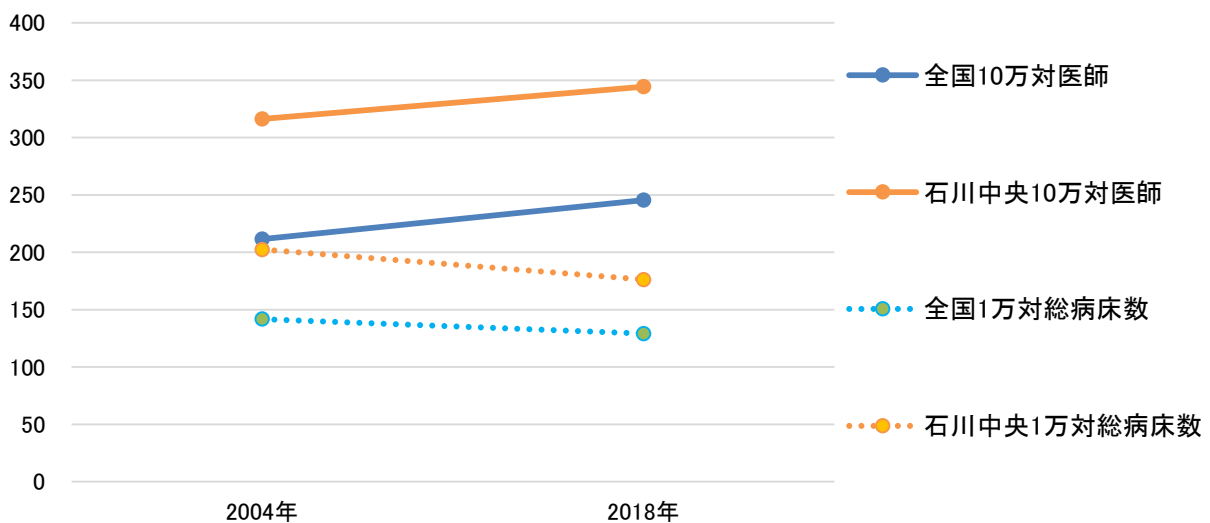
2004年の病院数が67(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2018年に58(人口10万人当たり8病院(全国平均6.6)偏差値53)となり、14年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が541(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2018年に586(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、45診療所が増加した。

2004年の総病床数が14,361床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2018年に12,837床(人口1万人当たり176(全国平均129)偏差値59)と、1,524床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

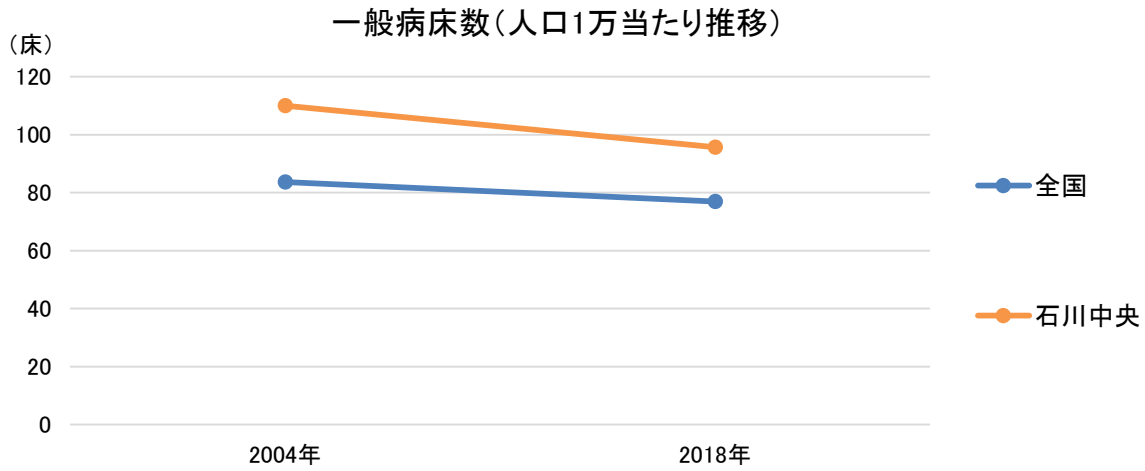
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,244人(人口10万人当たり316人(全国平均212人)偏差値62)であったが、2018年に2,509人(人口10万人当たり345人(全国平均245人)偏差値61)と、265人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



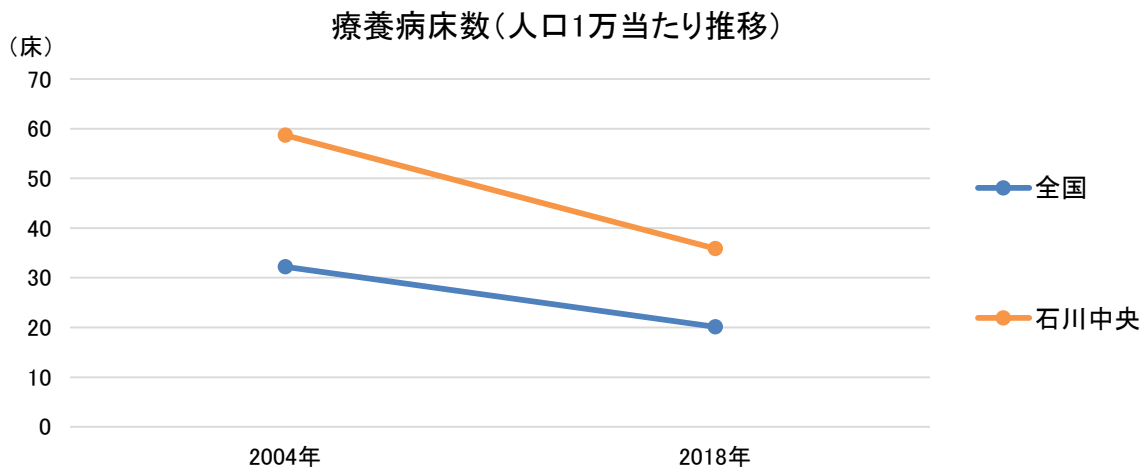
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,801床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2018年に6,969床(人口1万人当たり96(全国平均77)偏差値57)と、832床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



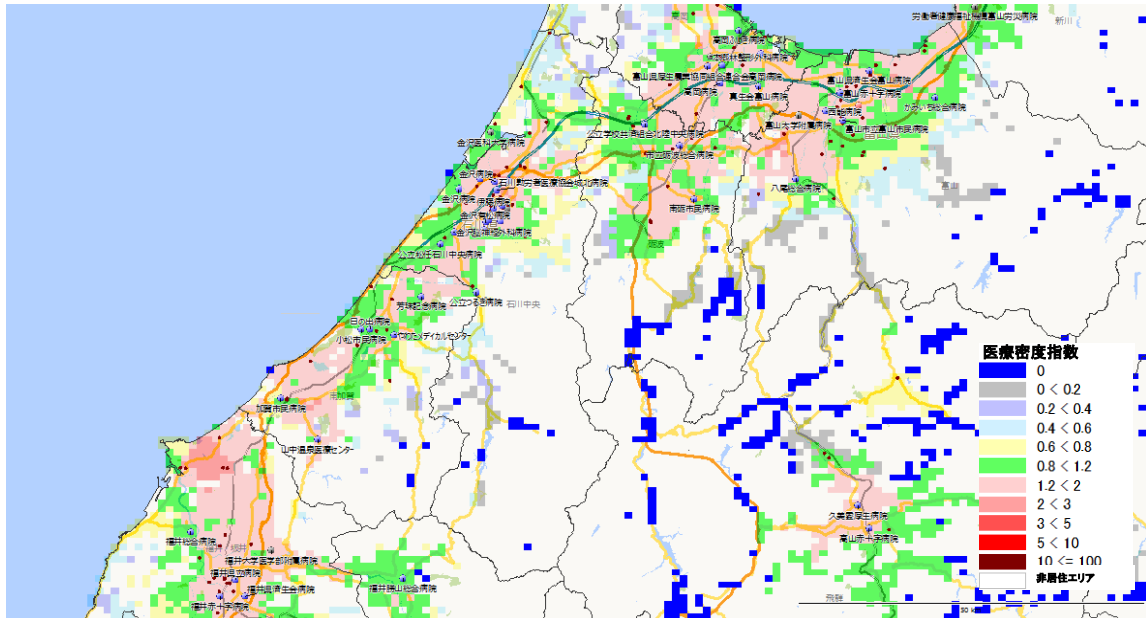
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,542床(75歳以上1,000人当たり59(全国平均32)偏差値65)であったが、2018年に2,930床(75歳以上1,000人当たり36(全国平均20)偏差値64)と、612床の減少、率にして17%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



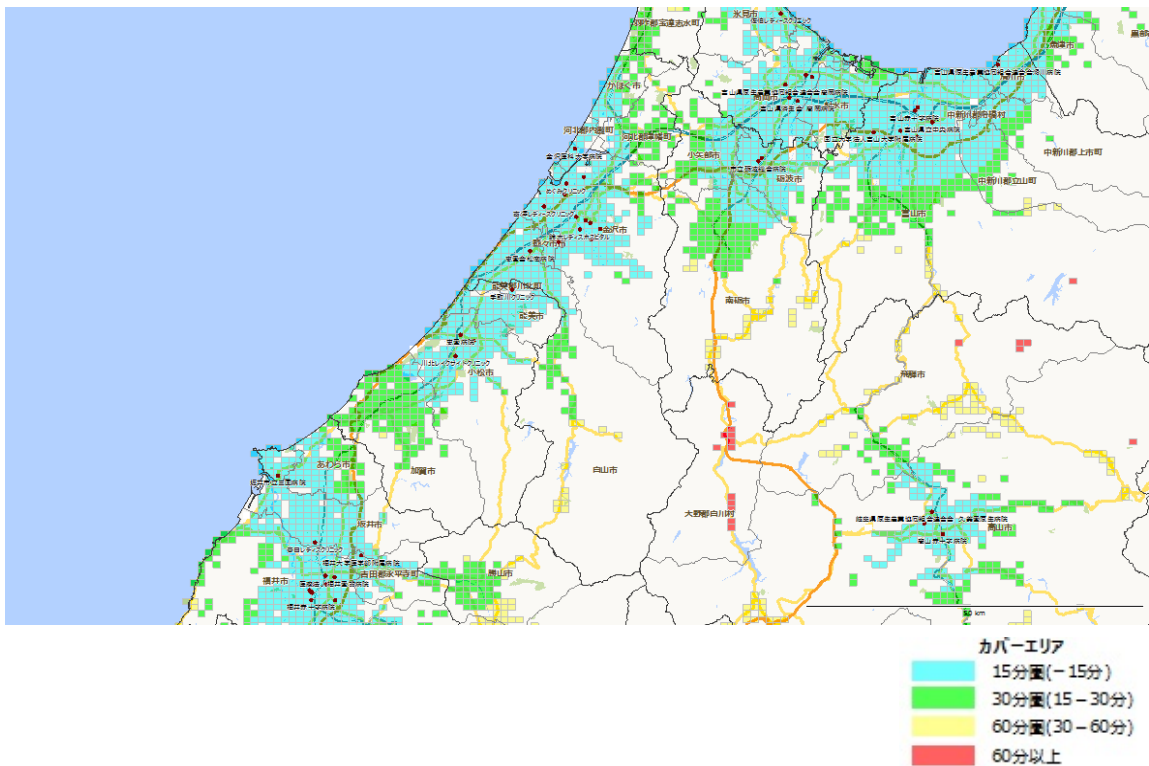
(石川中央医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表17-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表17-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

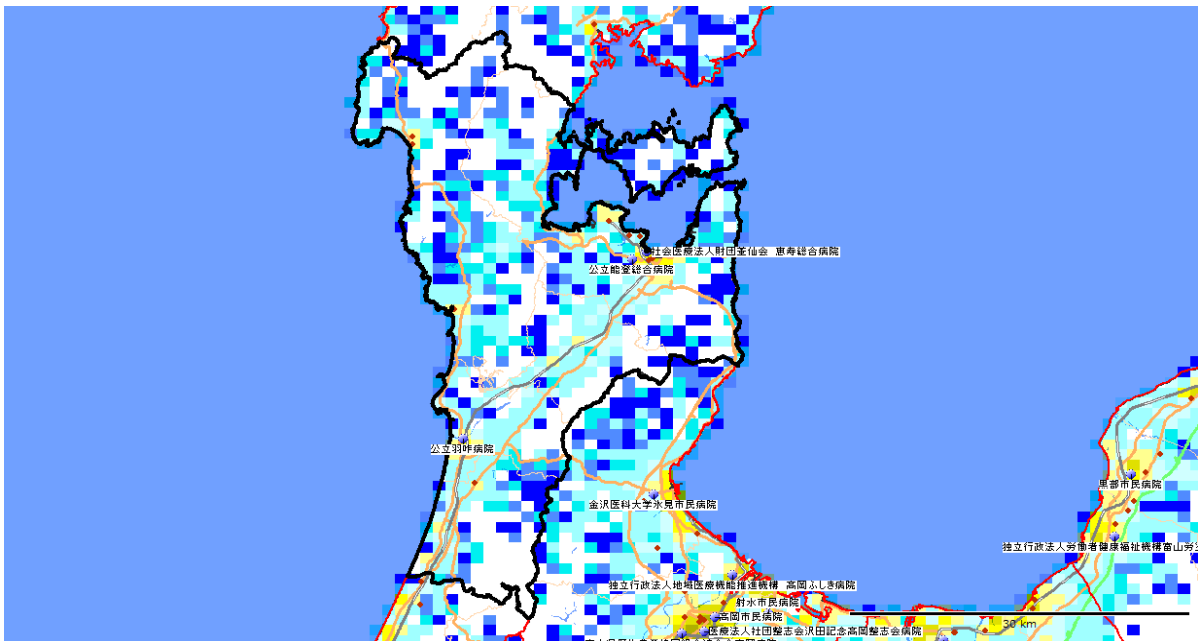


17-3. の と ち ゅ う ぶ 能登中部医療圏

構成市区町村 [七尾市](#) [羽咋市](#) [志賀町](#) [宝達志水町](#)
[中能登町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(能登中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 能登中部(七尾市)は、総人口約128千人(2015年)、面積848km²、人口密度は151人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 能登中部の総人口は2025年に112千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に86千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の23千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には25千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 能登中部の一人当たり医療費(国保)は427千円(偏差値66)、介護給付費は297千円(偏差値63)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 能登中部の一人当たり急性期医療密度指数は1.73、一人当たり慢性期医療密度指数は1.48で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数46、診療所医師数40)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。能登中部には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立能登総合病院(Ⅲ群・救命)、恵寿総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 能登中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,551人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,885床(偏差値66)、高齢者住宅等が666床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,106人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム37、軽費ホーム49、グループホーム65、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値67と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、139人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(能登中部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

能登中部医療圏の総人口は、2005年144,373人が、2015年に128,221人と11%減少し、2025年の人口が111,521人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

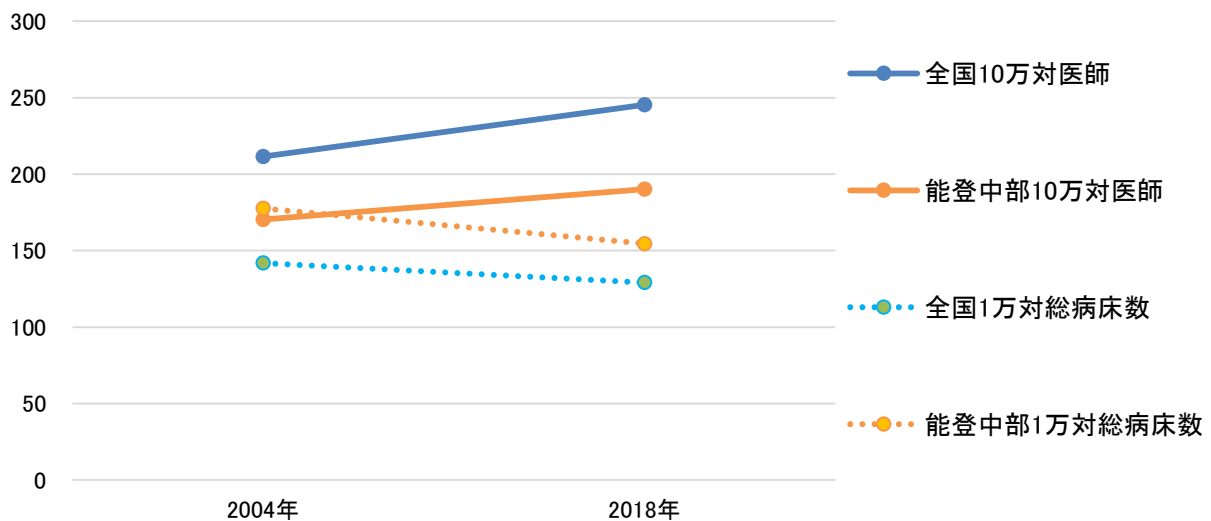
2004年の病院数が13(人口10万人当たり9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2018年に11(人口10万人当たり8.6病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が96(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2018年に79(人口10万人当たり62診療所(全国平均80)偏差値40)と、17診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,564床(人口1万人当たり178(全国平均142)偏差値56)であったが、2018年に1,981床(人口1万人当たり154(全国平均129)偏差値55)と、583床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

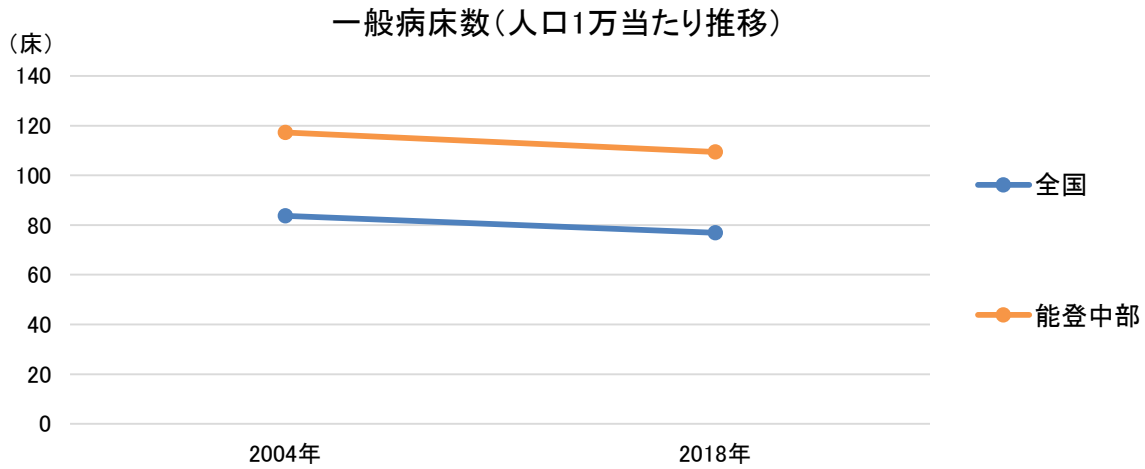
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が246人(人口10万人当たり170人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に244人(人口10万人当たり190人(全国平均245人)偏差値44)と、2人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



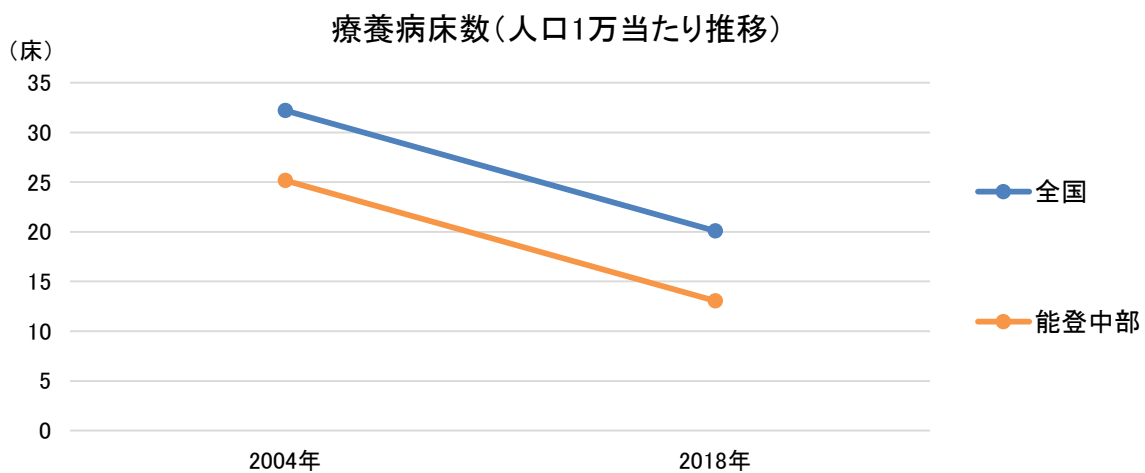
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,692床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2018年に1,403床(人口1万人当たり109(全国平均77)偏差値63)と、289床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



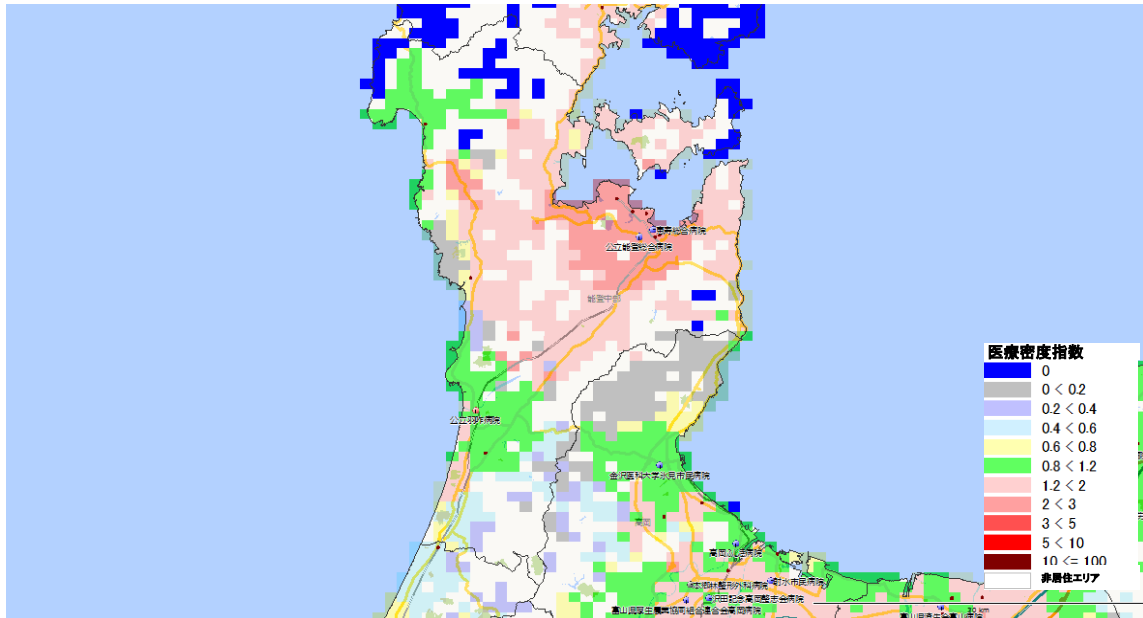
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が511床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2018年に304床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均20)偏差値44)と、207床の減少、率にして41%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



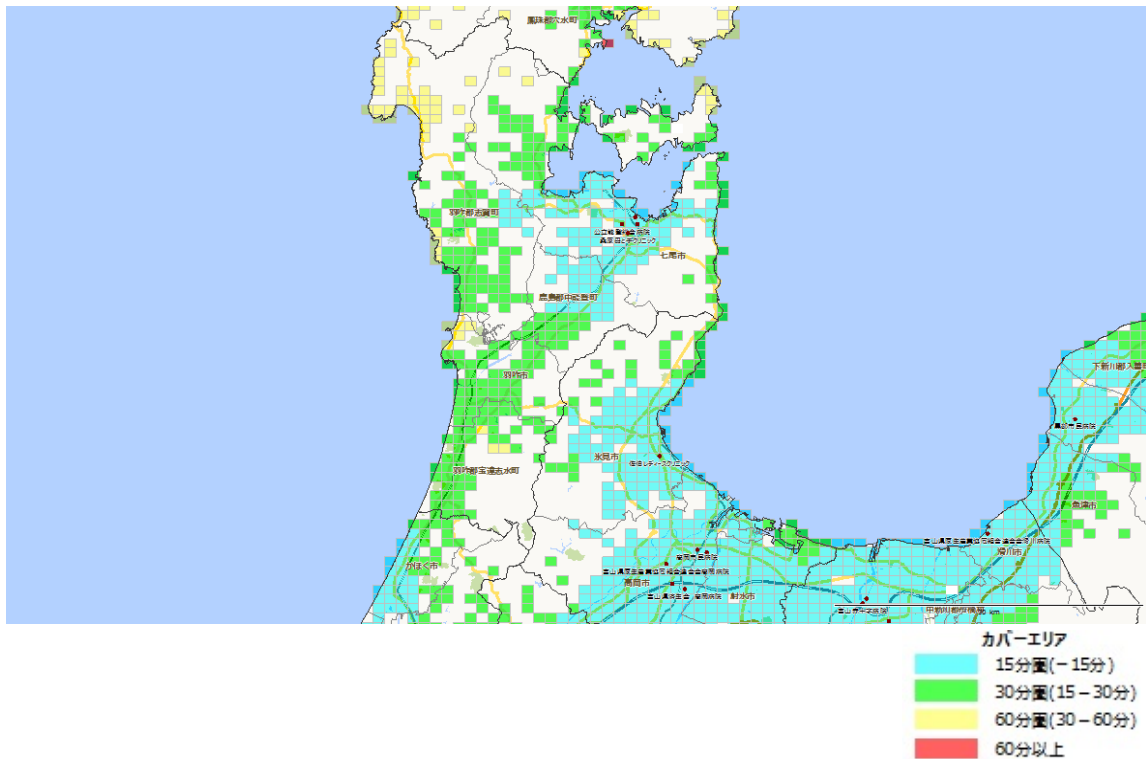
(能登中部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表17-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表17-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

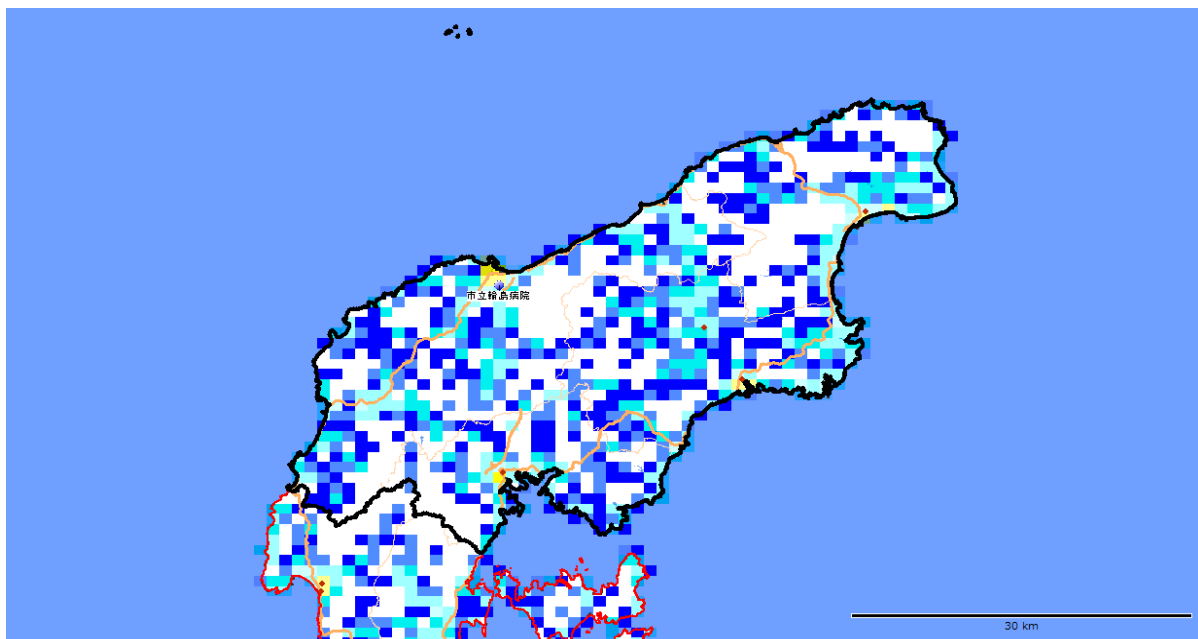


17-4. の と ほ く ぶ 能登北部医療圏

構成市区町村 [輪島市](#) [珠洲市](#) [穴水町](#) [能登町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(能登北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 能登北部(輪島市)は、総人口約68千人(2015年)、面積1,130km²、人口密度は60人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 能登北部の総人口は2025年に53千人へと減少し(2015年比-22%)、2040年に34千人へと減少する(2025年比-36%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて17千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 能登北部の一人当たり医療費(国保)は401千円(偏差値60)、介護給付費は305千円(偏差値65)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 能登北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.66、一人当たり慢性期医療密度指数は1.33で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数は0件である。能登北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 能登北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,666人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,322床(偏差値62)、高齢者住宅等が344床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,334人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設69、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホーム62、グループホーム55、サ高住30である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、96人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(能登北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

能登北部医療圏の総人口は、2005年83,214人が、2015年に68,195人と18%減少し、2025年の人口が53,135人と予測され、2005年→2025年の間に36%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%減少し、2015年から2025年にかけて13%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

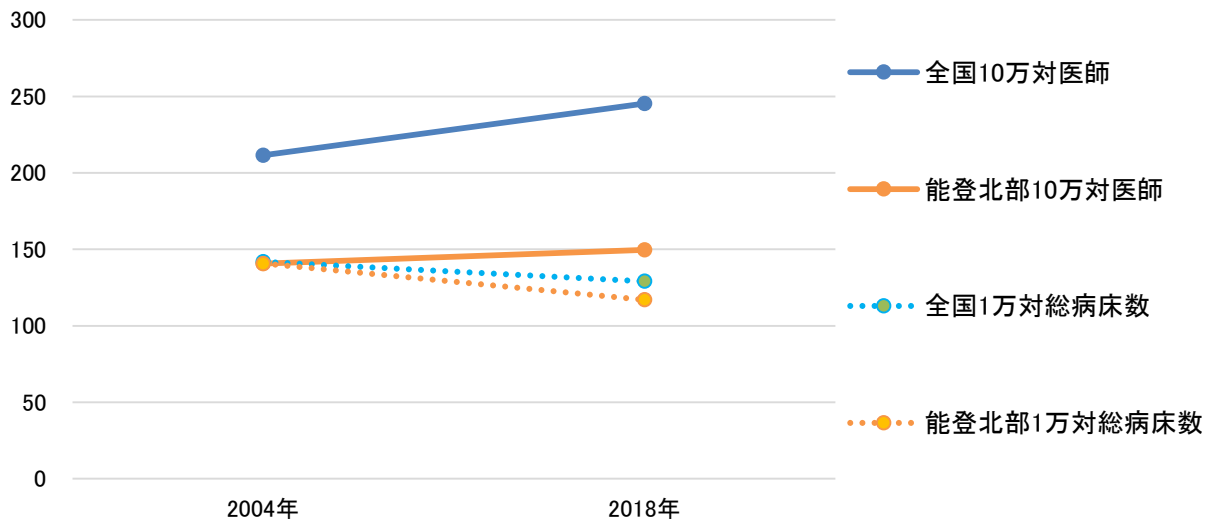
2004年の病院数が6(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2018年に5(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が62(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2018年に57(人口10万人当たり84診療所(全国平均80)偏差値52)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,171床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2018年に798床(人口1万人当たり117(全国平均129)偏差値48)と、373床の減少、率にして32%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

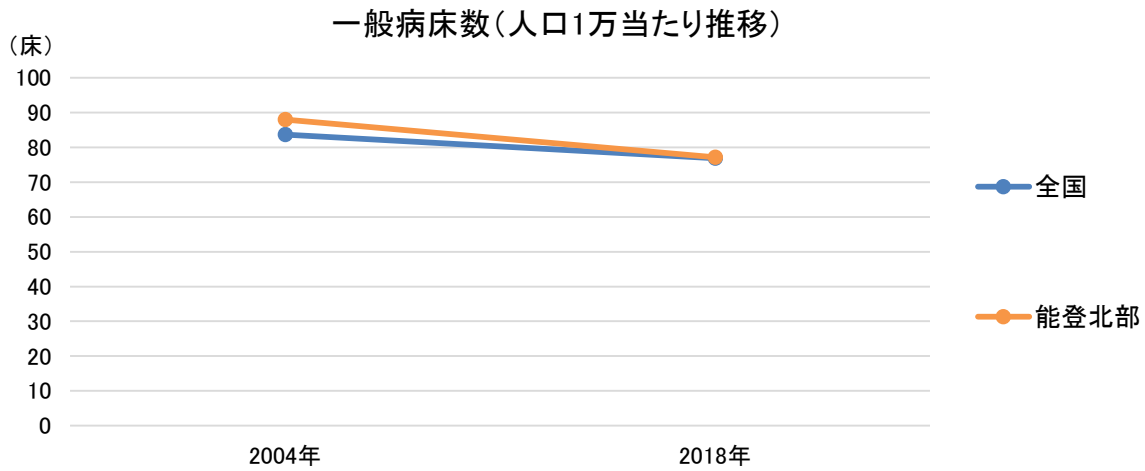
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が117人(人口10万人当たり141人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に102人(人口10万人当たり150人(全国平均245人)偏差値40)と、15人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



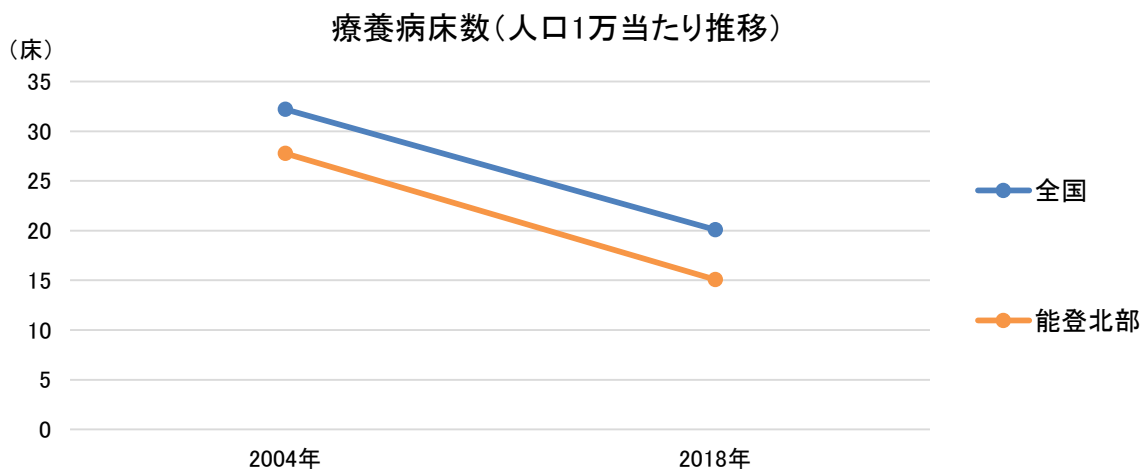
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が732床(人口1万人当たり88(全国平均84)偏差値52)であったが、2018年に526床(人口1万人当たり77(全国平均77)偏差値50)と、206床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



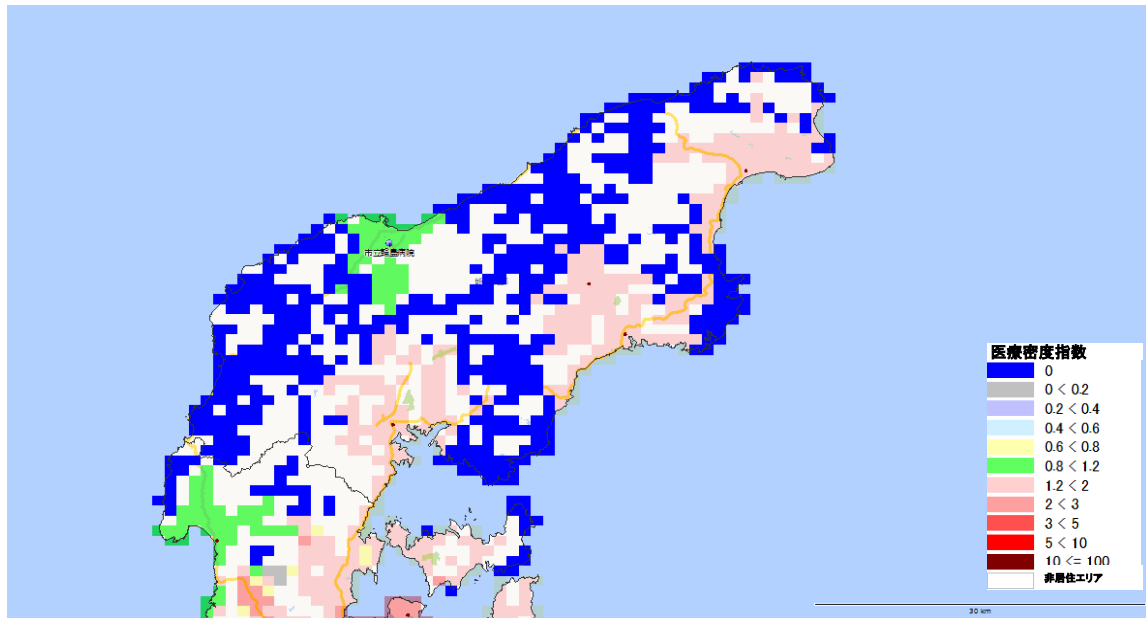
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が428床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2018年に261床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、167床の減少、率にして39%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



(能登北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表17-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表17-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

